

四国中央市こども計画（案）に寄せられた意見の要旨と市の考え方

四国中央市こども計画（案）について、令和7年1月27日（月曜日）から令和7年2月17日（月曜日）までの期間でタウンコメントを募集したところ、15人の方から26件の意見をいただきました。

案に対する意見と考え方は、次のとおりです。

なお、いただいた意見は、適宜集約・要約しております。

また、いただいたご意見の計画への反映は、本計画に既に含まれている内容であるため、計画変更の有無の欄は「無」と記載しておりますが、皆さまからのご意見は、市の現状に対する感想や施策の展開に対する要望といった形で大変貴重で、今後の施策の参考にさせていただきます。ご意見ありがとうございました。

寄せられた意見の要旨と市の考え方

No.	カテゴリー	寄せられた意見の要旨	市の考え方	計画変更の有無
【計画内での関連箇所】第5章 子ども・子育て支援施策の展開				
1	子育て遊び場 小児科	①遊びに行く場所が少なく、市内に出かけようと思う箇所がない。 ②公園遊具が新調されているがサイズダウンとなった。市内に出かけようと思う箇所がない。 ③子育て世代を増やすなら買い物の不便さより、小児科の拡充とアスレチックが多い公園が多い方が魅力的だと思う。	①今年度実施した調査でも、公園等の遊び場について多くのお声をいただき、ご指摘頂きました内容について市としてもその必要性を感じております。子育て環境整備においては、令和6年度5月策定の「四国中央市子育て環境整備基本構想」を指針とし、庁内関係課と連携をとり整備の充実を図ってまいります。 ②③公園については、現状の施設状況を把握しながら、それぞれの特色を考慮し、誰もが安全に遊べる場としての整備を進めます。 ③少児医療体制についても、限られた医療資源と地域ニーズのバランスが保てるよう取り組んでまいります。	無
2	子育て保育料	全世帯、第三子の子供の乳児保育料をなくしてほしい。隣接他市では無料となっているところもある。物価高騰などの影響で、非課税世帯以外も大変苦しい生活を送っている。子育て世帯の負担を減らしてほしい。	保育料の無償化については、独自の支援により各市町でサービスが異なっており、本市の乳児保育料の無償化については、第3子の場合には所得制限により、第4子以降から完全無償化となっているのが現状です。物価高騰などの影響による生活困窮問題については、市民サービスの中で様々な角度から対応すべき課題であり、世帯の就労支援として保育の受け皿を確保することは重要課題だと認識しております。本市において乳児期に保育園の利用を希望される方は、人口の約50%となっており、無償化については様々なご意見があるなか、今後の動態を注視しながらサービスの向上に努めてまいります。	無

3	<p>子育て遊び場 保育士</p>	<p>①土日に子どもを連れて利用できる室内の施設を作ってほしい。それが不可能ならしこちゅ〜ホールをもっと活用してほしい。</p> <p>②保育園 1 歳児の受入数は保育士が増えれば増やせると思う。保育士を増やすためにも保育士の給与をもっと上げてほしい。</p>	<p>①親子の触れ合いや遊び、交流できる施設整備の検討に努めてまいります。</p> <p>②利用定員については、保育士の数や施設の広さ等の基準を満たす範囲内で決定しており、年々減少傾向ではありますが希望通りの案内とならない場合があるのが現状です。また、保育士確保のため、働きやすい職場の環境づくりや、県内外から四国中央市に移住する方の保育士就労支援、保育士の給与にかかる処遇改善にも努めているところでありますが、応募が減少しているのが現状です。今後も引き続き、保育士確保や保育の質の確保に向けて努めてまいります。</p>	無
4	<p>子育て遊び場 子どもの意見</p>	<p>①小さい子どもを連れて遊ぶことができる室内の施設がない。</p> <p>②学生が楽しめる場所がない。</p> <p>③肝心な子どもの意見は聞いているのか。SNSなどを上手く活用してアンケートや宣伝をしてはどうか。子ども達が大人になって戻ってきたいと思えるようなまちづくりをしてほしい。高校生の子どもに聞いてみたが、アンケートは今までに特にない、商業施設ができれば嬉しいとのこと。</p>	<p>①就園前の子育て世代の遊び・相談・支援の場として地域子育て支援拠点を市内6か所に設置しており、交流や地域との繋がりをとおし個々の子育てがより良くなるよう活動しています。市としては、拠点等の子育て支援が必要とされている方へ届くよう積極的に情報発信を行い周知に努めます。</p> <p>②学生の居場所、交流できる場の創出や、地域の活動に対する施策は、子ども達が将来四国中央市に住み続けたいと思えるまちづくりに繋がると考え取り組んでおります。今後も地域に対する価値の再発見やシビックプライドの醸成に繋がる施策の展開を検討いたします。</p> <p>③施策に応じ、こどもや若者の意見を聞き、対話し、共に進めていくことがこれからも必要となってきます。今年度実施した小中学生のアンケートでは、園や学校経由での配布、WEB 回答も可能とし回収率に努めました。また、各小中学生対象の子ども会議で意見を拾う等、子ども達の思いを集めることができました。今後も、ご意見いただきました SNS などの活用も視野に入れ、より広く意見を募る方法を検討してまいります。</p>	無

5	子育て	<p>少子化を言う割に、多子世帯、非課税世帯ばかり。子どもが多い分お金が要ることをご存知ですか。</p>	<p>ご意見を頂き、子育ての大変さ、経済的負担、また本市の支援事業についての周知不足も感じました。</p> <p>本市の副食費、給食費、こども医療費の無償化や紙おむつのチケット配布、ナップランドの支給など様々な角度から行っている市独自の支援は、経済的負担の軽減を目的とし、個々の子育てや子供たちの成長を地域で応援する事業であります。また、国においても児童手当制度の見直し等こどもをまんやかに捉え負担軽減に繋がる施策を打ち出しております。</p> <p>今後も社会情勢の変化やニーズを考慮しながら本市が子育てしやすい、住みやすいと選ばれる市となるよう、施策展開に努めてまいります。</p>	無
6	子育て遊び場	<p>一日中遊べる公園がない。広い土地があるのに遊具が少ない。予算のことはわかりませんが、隣の市ができて四国中央市ができない理由がわからない。毎週末、違う場所へ遊びに出かけることは今に始まったことではない。市民の意見を取り入れてもらえると嬉しい。</p>	<p>公園等の遊び場について多くのお声をいただき、市としてもその必要性を感じております。子育て環境整備においては、令和6年度5月策定の「四国中央市子育て環境整備基本構想」を指針とし、庁内関係課と連携をとり整備の充実を図ってまいります。子育て世代だけでなく、利用される市内の公園については、それぞれの特色を考慮し、誰もが安全に遊べる場としての整備を今後も努めてまいります。</p>	無
7	子育て若者	<p>①四国中央市の多子世帯支援は設定を見直すことで、より多くの世帯に支援することができると思う。支援金だけで子どもを増やすことは難しいがもう1人育てようと思うきっかけの1つになるのではないかな。</p> <p>②子育てしやすいとのアンケート結果だが、人口減少による市の運営自体危ぶまれる。転入者のアンケート結果も同じなのか？転入してでも子育てしたい市になれば、学生が戻ってくる。女性に対しての市の魅力が欠けている。転入や定住には活発な企業の存続や、親子で楽しめるアミューズメント、商業施設などの企業誘致が必要だと思う。</p>	<p>①本市の多子世帯支援事業については、ご意見いただいたとおり、希望される出産の後押しとなるような支援の一つとして実施しておりますが、国の制度、子育て世代を取り巻く環境の変化に応じて、検証、検討してまいります。</p> <p>②将来を見据えてのご意見に共感いたします。実態調査や人口データの結果から、市の現状と課題を把握し、これまでの関連計画の取組と成果から改善や継続の施策を庁内関係課と共有し、住みやすい、住み続けたいまちへ繋がるよう努めてまいります。</p>	無

8	子育て 定住	<p>子育て世代の支援として住宅関連の費用支援がもっとあれば良いと思う。定住に繋がる。現在の出産世帯関連補助金等の支援はあるが、対象年齢に制限があることや、対象経費がラッキーにしかならないような用途に向けての支援で、四国中央市に還元されるものが果たしてあるのか疑問。もっと未来へ向けてのお金の使い方をしてほしい。</p>	<p>市の補助金制度は、ニーズや検証などを踏まえたものでありますが、社会情勢や取り巻く環境の変化に対応すべきであると考えております。現事業の検証や改善はもちろん更なる検討を重ねてまいります。</p>	無
9	子育て 貧困	<p>四国中央市に生まれてきてくれた子供をできるだけ不幸にする事なく、また将来市に就業、在住してもらえるように、可能であれば愛着を持ってもらえるような施策をしてほしい。</p> <p>子ども食堂には、提供する側にも色々なメリットがあるが、課題もある。行政が改善できることもあるかと思う。</p>	<p>子ども食堂だけでなく子どもや家庭の食支援団体に対し安定的、継続的な運営が可能となるよう、補助金を支給しているほか、より多くの団体に活動していただけるよう、開設補助金の支給も実施しております。そのほか、支援団体同士をつなぐネットワークも設立し、寄付や活動の拡充、新たな子育て支援、「地域の居場所づくり」に取り組んでおります。ご意見いただきましたように、今後も子どもたちが地域に愛着をもてるような「居場所づくり」や支援施策について、各団体と共に取り組んでまいります。</p>	無
10	子育て 貧困	<p>四国中央市こども計画の 100 p に及ぶ書類を拝見して、多岐にわたる問題・課題に対応していかれることにすごいな、と感じました。</p> <p>フードパントリー活動をさせて頂いており計画の中にもフードパントリーが触れられていますので、一層の責任を感じつつも、また広く食支援の必要性を市内の方に知って頂く機会になるのかな、と期待もしています。</p>	<p>こども計画では、「こどもまんなか社会」の実現を目指しております。実現には妊娠から若者まで切れ目のない施策が重要で、全ての子ども若者が幸せな状態で成長できるよう、教育、医療、福祉など広範囲で関わり、こども達の将来が置かれた環境によって左右されることのないよう努めてまいります。</p> <p>また、この計画を主体であるこどもや若い方にも触れる機会を設け、地域の取組があることなどを知らせるとともに、地域での支援の輪がより広がるよう引き続き尽力してまいります。</p>	無

11	医療 遊び場	<p>①日曜祝日、夜間の子供の医療機関が少ないです。</p> <p>2次救急だけど小児科がないからと診察をしてもらえない、夜間、救急だけど個人の受付を断られたが、市外では診てもらえた。市内で子供をいつでも診察してもらえる医療を充実してほしいです。周りにも時間外に診てもらえる市外の病院に連れて行ったと言う人が沢山います。</p> <p>自分のような体験をしたらよそがいいのではと思われかねない。</p> <p>市内の開業医を増やす。大きな病院に小児科を作ってもらうなど市内の高校生で医者になり市内で働きたい環境を作ってもらいたいです。</p> <p>②大型の小学高学年が遊べる公園があれば子供が喜ぶます。</p>	<p>①ご自身の体験からのご意見は大変参考となります。</p> <p>小児科に限らず医師不足は年々深刻化しており、それは大きな病院においても同様です。夜間等に軽症を含めた全ての患者を病院で受け入れることは、医療現場の逼迫を招き、地域医療の崩壊につながる恐れがあります。</p> <p>このため、症状に応じて初期救急と二次救急それぞれの適正な利用をお願いしているところです。</p> <p>当市を含む東予東部3市では、限られた医療資源のなか広域連携による小児救急の充実に向けた取組を進めております。</p> <p>また、診療所開業支援等事業の創設や医療従事者確保事業の拡充等により、安心して子育てのできる環境づくりに引き続き取り組んでまいります。</p> <p>②公園等の遊び場について多くのお声をいただき、市としてもその必要性を感じております。子育て環境整備においては、令和6年度5月策定の「四国中央市子育て環境整備基本構想」を指針とし、庁内関係課と連携をとり整備の充実を図ってまいります。子育て世代だけでなく、利用される市内の公園については、それぞれの特色を考慮し、誰もが安全に遊べる場としての整備を今後も努めてまいります。</p>	無
----	-----------	--	---	---

12	遊び場 若者 保育 子育て	<p>①「親子でも出かけやすく楽しめる場所」はいくつか本市でもあると思います。しかし、天候に左右されない、かつ働いている親も休日に家族サービス出来て自身も楽しめる場所ができるのか（現在計画しているものがそれに該当するのか）、心配になります。</p> <p>②また、若者は婚活のために出会える場を本当に求めているのか、婚活とうたわず、若者が楽しく時間を共有できる場を提供したほうが、間接的に婚活につながるのかもしれないと思いました。</p> <p>③医療的ケア児支援体制に関して。 医療的ケア児を保育所（園）と一緒に保育することによる他の子どもたちへの影響も理解しておく、日常の保育に役に立つのではと思いました。</p> <p>④こども計画の p37「子育て拠点となるよう、施設ごとの取り組みだけでなく、保育園や公民館等ほかの社会教育施設との連携を図る必要がある」や『『しこちゅ〜ほこほこネット定例会』では団体間の連携を深め「地域ぐるみで子育て」意識の醸成を図ります』、とありますが、どんな連携があるのか、その連携がどのように子育て支援につながるのか、具体的に考えなければならぬと思いました。</p>	<p>①天候に左右されない屋内遊び場について、必要性を感じております。今年度、子どもや子育て世代の意見を頂きながら子育て環境整備を進めており、屋内遊び場を含めた市内の遊び場が、子どもや地域との交流の場となるよう図ってまいります。</p> <p>②ご意見にあるように、結婚は個人の自由な意思により決まるものであり、また家族を取り巻く環境も多様化しているなど、時代に合った対応が求められていると感じます。</p> <p>令和5年度から、若い方たちが集える場所、出会いの場を、地域から提案いただき、市が応援する事業「友活・恋活チャレンジ事業」を実施しており、地域団体から様々な形で交流の場を提供頂いておりますが、今後も提供する側、受ける側の意見等を検証しながら施策を検討してまいります。</p> <p>③令和6年度中に「医療的ケア児の保育所等受け入れガイドライン」を策定することを予定としており、今後も実現に向け努めてまいります。</p> <p>④支援を必要としているところに届けたい思いは、支援する側の目的、願いであります。教育、行政、地域等支援する側が共助し、個々の状況に応じた支援を推進してまいります。</p>	無
----	------------------------	---	---	---

13	子育て 学校	<p>①子育てを通し、自分の身体を大切に する教育が誰によってなされると良い のか？どのタイミングで？など、正解 のない中で、教えていくしかないと思 います。教育の場面の一例で、自分と いう人間が命を持って生まれたこと を、確認することがあるといいです ね。</p> <p>②環境がこどもを育てるとの認識。生 きる力を養うこと。自立のために、主 体性と当事者性をもつこと。確かな学 力、豊かな人間性、体力健康をバラ ンスよく育てること。</p> <p>新宮小、中学校を手始めに、新宮カリ キュラムを利用して、川之江、三島、 土居と特色のある教育が起こってき て欲しいです。それが行く末、地盤産 業の成熟、新たな四国中央市としてつ ながればと思います。</p>	<p>①市としても現在取り組んでおります、思 春期における心身の変化等正しい知識の普及 や健康づくりについての指導を充実し、生命 の大切さや思いやりの心の醸成を、今後も 図ってまいります。</p> <p>②「学ぶ力を育む環境づくり」を目標に、 学ぶ力の育成をはじめ、心の教育の推進 など、心豊かな成長を支える学校教育を 推進するとともに、家庭や地域をはじめ、 関係機関との連携を強化する施策に取 り組んでまいります。</p>	無
14	定住	<p>働き口は数多くありますが、サービス 業が増えれば、職業の選択肢が増え、 Uターンを考える若者、永住を考える 子育て世代が増える可能性が高いです。 四国中央市の特徴としては四国の交通 の中心であるとともに、港が整備され ているので、イケアのような大型、中 型店舗を1つ誘致することが出来れば あとは周辺に続く企業や小売店なども 増え、一気に問題が解決するように思 います。壮大な話にはなりますが、そ のポテンシャルは四国中央にはあると 思っていますので一考頂けると幸いです。</p>	<p>上位計画である「第三次四国中央市総合計 画」の方針に沿って、四国の中心に位置 するまちとして、地の利を活かしたまち づくりを進めることにより、活力とにぎ わいを創出し、若い人々が「ここで暮 らしたい」と思える魅力的なまちの基 盤づくりを進めてまいります。</p>	無

15	学校	<p>[基本目標4]全欠状態のこどもさんでも足が向くような学校づくりを要望します。四国中央市では民間のフリースクールへの補助は検討されていますか？</p> <p>不登校状態の子どもたちが通いやすい「多様な学びの学校」づくりも検討していただきたいです。</p> <p>[基本目標6]子ども若者の未来を支えるまちづくり。子ども若者の健やかな成長を支える居場所づくり。「居場所」としては学校内の居場所→校内サポートルーム設置は必須です。また、地域のサポーターさんがもっと学校に関わって、教員以外の人材を学校に置くことで様々な活力がわいてくると思います。コミュニティスクールをもっと中学校でも進めてほしい。</p>	<p>不登校支援として、児童生徒が安心して居たい場所、安心して相談したい人を見付けられるように支援を行っております。</p> <p>不登校児童生徒、その保護者が安心して相談できる窓口として、こども支援室を設置しており、各教育支援センターの案内だけでなく、各関係機関へつないだり、アウトリーチ支援を行ったりしております。</p> <p>校内サポートルームの設置については、校内の別室指導として、各相談員による対応をお願いしている現状にあります。小学校の相談員が未配置の学校についても、相談員を配置できるように今後も検討してまいります。</p> <p>民間のフリースクールへの補助については、現時点では考えておりませんが、児童生徒の社会的自立につながる居場所として連携を図れるようにしていきたいと考えております。</p> <p>「学びの多様化学校」の設置については、愛媛県その他市の動向を見ている状況にあります。現状としては、本市においての設置については検討しておりません。</p> <p>現在、不登校児童生徒と学校以外の関係機関との関わりを増やすように取り組んでおります。効果については、すぐには見えにくいところがありますが、切れ目のない支援となるよう取り組んでまいります。</p>	無
----	----	---	--	---